



つちおと



志津川湾の養殖施設



早朝から始まる作業



水揚げ



活気あふれる施設内の様子



今回お世話になった「JF みやぎ かき養殖部会」遠藤部会長さん(左)

◆南三陸町でカキ処理施設が整備され10月4日に落成式 ◆志津川と戸倉にあった施設6箇所すべてが被災、今回は共同利用施設として復旧 ◆24日、JFみやぎ遠藤さんから状況を伺いながら、かきの水揚げ、殻むきなどの作業を見学させていただきました◆県内で最初の再開となった処理場。「カキは高値で取引されている。支援に感謝」と遠藤さん ◆早朝から作業される方々のお話を伺い、改めてなりわいの再建をはじめ復興のスピードアップが必要だと痛感。

- ◆10月17日、今年4回目となる復興交付金の要望が提出されました。住宅再建を中心に、産業の再生などが事業計画に盛り込まれました。今後、要望内容の確認、関係省庁との協議などを経て、交付(可能)額が決まります。
- ◆階上地区に建設が進むガレキの二次処理場。銀色の勇姿がそびえ、運搬用道路の整備なども進められています。新たなまちづくりへの取組みとともに、安全かつ迅速なガレキ処理も急がれます。
- ◆気仙沼漁協が、朝日町に建設を進めていた東北最大級の製氷・貯氷施設が完成。本格稼働を前に、施設内を見学してもらいました。最大級というだけあって、製氷プール、氷の破碎施設、貯氷のための冷凍庫など、すべてが巨大。水産業に欠かすことのできない氷が安定して供給できるとのことでした。
- ◆大川に鮭が帰ってきました。JRの鉄橋付近では、たくさんの鮭が水しぶきをあげてひしめいていました。素人目にはたくさんに見えても、八幡川、津谷川なども同様、現在のところ例年に比べて少ない傾向のようですが、これも残暑の影響なのでしょうか？ かつお、さんまにも海水温の影響が出ているようですし、山の幸にも…。それでも街のあちこちでおいしく「秋」をいただけるのは「三陸ならでは」です。
- ◆残暑が厳しかったせいで、「ちょうどよい」秋を楽しむ間もなく夏からいきなり晩秋へ。気温の急変のせいか、風邪が流行っているようです。みなさま、十分お気を付けください。(山)



◆復興道路気仙沼推進チーム建設監督官の吉田光潤さんに聞く

今回は、三陸沿岸道路の整備事業を担当されている復興道路気仙沼推進チーム建設監督官の吉田光潤さんへのインタビューです。
*復興道路気仙沼推進チームは国土交通省の気仙沼国道維持出張所内で業務に当たっています。吉田さんの正式な所属は下のプロフィールを御覧ください。

—気仙沼ではいつから仕事をなさっていますか？また、気仙沼に来る前はどのような仕事をなさっていましたか？

復興道路気仙沼推進チームが設置された今年4月から気仙沼で仕事をしています。気仙沼に来る前は、東北地方整備局の道路工事課で、国が発注して行う道路工事のマネジメント業務を行っていました。

—復興道路気仙沼推進チームについて教えてください。

復興道路気仙沼推進チームは、この震災で必要性が高まった三陸沿岸道路を一日でも早く整備するために設置されました。これまで自治体や住民の皆様との調整や現地の確認には、その都度、仙台から職員が足を運んで対応していましたが、できるだけ現場で機動力を持って対応するために復興道路気仙沼推進チームが設けられました。復興道路気仙沼推進チームは現在7人体制で業務に当たっており、歌津から気仙沼市の県境までを担当しています。7人のうち3人は、他の地方整備局からの応援職員が業務に当たっています。

—三陸沿岸道路の整備の現状について教えてください。

とにかく一日でも早く供用を開始できるよう業務に当たっており、歌津～本吉については、関係者の皆様の御協力のおかげで異例の早さで工事に着工することになります。

注：歌津～本吉については、11月3日に宮城県と気仙沼市とともに着工式が挙行されます。

—三陸沿岸道路の整備の効果をいくつか教えてください。

三陸沿岸道路が完成すれば、仙台と2時間弱で結ばれ、人やモノの流れがスムーズになり、観光や物流の面での効果が期待できます。

また、東日本大震災による津波浸水エリアを回避した（浸水エリアを回避できない場合には、高さを津波遡上高以上とした）計画としており、緊急避難路等についても検討中であることから、有事の際に"逃げることのできる施設"としての利用も考えられます。

—日々の業務で心がけていることを教えてください。

三陸沿岸道路に対する地域の期待の大きさを身をもって感じており、その声に応えるためにも、スピード感を持って事業に取り組まなければならないと思う一方で、被災地での整備であることから、関係者の皆様に被災されている方も多くいらっしゃることを念頭に置いて業務に当たっています。例えば、用地買収の相談や事業の説明をさせていただく際に仮設住宅にお邪魔させていただくこともありますので、地元の関係者の皆様への丁寧な対応等を心掛けています。また、工事については、安全を第一に進めていかなければならないと考えています。

—気仙沼市や南三陸町の皆様にメッセージをお願いします。

三陸沿岸道路の整備は、復興に向けたリーディングプロジェクトと言われており、一日でも早く供用を開始して、まちの復興の一助になればと考えています。できるだけ地元の声に応えていきたいと考えていますので、よろしくをお願いします。

*三陸沿岸道路についてのお問い合わせは、復興道路気仙沼推進チーム（0226-24-3212）まで御連絡ください、と吉田さんからのメッセージです。

吉田光潤（よしだみつひろ）さん
昭和45年生まれ。国土交通省東北地方整備局
仙台河川国道事務所気仙沼国道維持出張所復興
道路気仙沼チーム建設監督官。三陸沿岸道路の
整備に向けて活躍中。



三陸沿岸道路の御紹介

今回インタビューさせていただいた復興道路気仙沼推進チームが業務に当たっている三陸沿岸道路について御紹介します。

*三陸沿岸道路は、宮城県仙台市と青森県八戸市を結ぶ自動車専用道路です。

(三陸沿岸道路の計画延長や新規区間等)

	計画延長	供用中	事業中	新規区間
三陸沿岸道路	359km	129km	82km	148km
うち宮城県	126km	74km	29km	23km



復興道路気仙沼推進チーム
(気仙沼国道維持出張所内)



気仙沼市本吉町寺谷地区の工事風景



気仙沼市本吉町道貫岩尻地区の工事風景



復興関連情報の御案内

復興に関連する情報の発信源を御紹介します。。。

復興に関連して自治体や企業から様々な情報が発信されています。今回は、ホームページで情報を提供しているものをいくつか御紹介します。

- 「けせんぬま復興ニュース」(発行：気仙沼市秘書広報課) <http://www.city.kesenuma.lg.jp/www/contents/1345445266132/index.html>
気仙沼市が行う各種説明会や復興関連情報を掲載しています。
- 住宅高台移転まちづくりニュース (発行：南三陸町復興事業推進課)
http://www.town.minamisariku.miyagi.jp/modules/gyousei/index.php?content_id=462
住宅の集団移転を進めることを目的に各地区の進捗状況や相談会の開催情報等を掲載しています。
- 「みやぎ復興プレス」(発行：宮城県震災復興推進課) <http://www.pref.miyagi.jp/fukusui/honbu/press.htm>
宮城県の復興状況や被災者支援情報など、復興に関する主な情報をお届けしています。
- 「復興庁企業連携メールマガジン」(発行：復興庁企業連携室) <http://www.reconstruction.go.jp/topics/post-81.html>
被災地の復興に取り組む企業や地方公共団体に対して、復興庁や各省庁の復興関連情報及び企業・地方公共団体の被災地における先進的な取組等を紹介しています。

ナンプレにチャレンジ！！

		4		9	1		2		
3		6					9	1	
	9			7					
			9	8			7	6	5
			7		6				
8	6	7		1	5				
				2				1	
2		5					4		6
	4		1	6		2			

ルール
 ・9マスごとの縦の列と横の列にそれぞれ1から9の数字が1つずつ入ります。
 ・太枠で囲まれた9マス(縦3マス、横3マス)にそれぞれ1から9の数字が1つずつ入ります。

【編集後記】

◆職場からの帰り道、ふと夜空を見上げると、南の空にオリオン座を始めとする冬の大きな三角が輝いていて、季節の移り変わりの速さを実感しました。

前回のクロスワードの回答

答え
 「東北全域を博覧会場に見立てた『東北かんこう博』の30番目のゾーンとして、気仙沼ゾーンがオープンしました。」

タテのヒント
 1 あるものごとが好きなお店の集まりです。例えば、「登山○○○○○い」、「テニス○○○○○い」など。
 2 田や畑に立っています。
 3 屋根板や外壁等に使われる重宝板です。
 4 トム・ソーヤーの○○○○、ヒーターガムの○○○○。
 7 ○○○・無違反のために交通ルールを守りましょう。

ヨコのヒント
 1 夕焼け～小娘村～の○○○○○。
 5 海などに浮かべて利用します。○○○。
 6 サッカーの選手手に広告の協力がいただいています。
 ○○○○○復興応援団旗。
 8 外国の人
 9 オクトパス君は、志津川○○○をモチーフにしています。

1	あ	2	か	3	と	ん	4	ぼ
5	い	か	た	7	む	け		
6	こ	し	ん	9	じ	ん		
	う				7	た	こ	
	か							

「つちおと」がホームページから御覧いただけるようになりました！

URLは、

<http://www.reconstruction.go.jp/topics/001177.html>

または、①復興庁ホームページ→②宮城復興局→③気仙沼支所だより「つちおと」にお進みください。

復興元年

「つちおと」発行元 (お問い合わせ先)

復興庁 宮城復興局 気仙沼支所
 電話 0226-23-5301
 FAX 0226-23-5310

復興庁ホームページ

<http://www.reconstruction.go.jp/>